広汎子宮全摘術 を受けられる方へ

◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むように下記の計画に基づき援助します。

お名前 @{Patient.Name} 様

受持ち看護師

日付	入院前日までに	手術前日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	術後1日目	術後2～4日目	術後5～7日目	退院後
目標・退院基準	・手術・麻酔に対する不安の訴えがない ・手術について必要性が理解できる ・手術について理解し、オリエンテーション内容が言える・絶食が守られている			・処置した所に発赤・腫脹・熱感がない ・バイタルサインに異常がない ・痛みのコントロールができている ・転倒しないように注意した行動を自分で意識できる ・褥瘡（床ずれ）がない	・手術部位からの出血がない ・立位・歩行ができる ・転倒しないように注意した行動を自分で意識できる ・褥瘡（床ずれ）がない	・手術部位からの出血がない ・安全に歩行ができる ・排ガスがある ・転倒しないように注意した行動を自分で意識できる ・褥瘡（床ずれ）がない ・体温上昇がない	・お傷に発赤・腫脹・熱感がない・排便・排ガスがある ・シャワー浴ができる ・日常生活の注意点を理解し、退院後の生活の不安がない ・リンパ浮腫の日常生活の注意点を知っている	
検査				酸素マスクや心電図、脚にフットポンプ(血栓を予防する装置)が装着されます。				
処置				適宜検温を行います。術式によっては胃管(お鼻に管)をいれる可能性があります。	医師による回診があります。	ドレーンが抜けるまでは、回診があります。ドレーンの性状・量により医師がドレーンを抜きます。		退院前に診察があります。
注射			７時頃から点滴を開始します。(8時15分入室の場合、点滴はありません。)	持続で点滴をします。痛み止めの管が背中に挿入されています。痛みや吐き気がある時は、遠慮なく伝えてください。	持続で点滴をします。	食事内容や食事摂取量によって点滴があります。		
内服薬	主治医の指示に従って常用薬を内服してください。	薬剤師が持参のお薬を確認します。手術前は全ての内服薬をお預かりします。医師の指示のもと手術前に内服するお薬をお渡しします。	麻酔科医の指示で6時に常用薬を内服することがあります。		飲水が可能であれば、医師の指示によって、常用薬が再開となります。			
食事	普通通りの食事です。	**昼食が最後です。**以降は軽食・牛乳・お菓子・ジュースも禁止です。	絶食です。	絶飲食です。鼻に管(胃管)が入っています。口が渇いた時は看護師が介助しながらうがいやスポンジ等で口を潤します。	胃管が入っている間は絶飲食です。胃管が抜けたら、医師の指示で飲水が開始になります。初めは看護師介助の元で水を飲みます。その後、吐き気がなければ少しずつゆっくり飲んで下さい。(胃管の量が少なくなってきたら、胃管が抜けます。)	術後の食事は、始めは水っぽいお粥から始まり徐々にかたいお粥となり普通食となっていきます。		通常通りの食事です。ゆっくりよく噛んで食べることを心がけてください。
飲水制限	ありません。	**飲水(お茶・お水)は21時までです。21時以降の飲水内容・量については麻酔科から指示が出ます。看護師が説明用紙をお渡しします。**	飲水については指示通り行ってください。					
活動 安静度		制限はありません。手術の説明や検査があります。お部屋を離れる際はお伝えください。	お部屋を離れる際はお伝えください。ベッドやテーブルの上に必要なもの以外は置かないようにしてください。	ベッドの上で安静に過ごします。	医師の指示のもと看護師が介助しながら動く範囲を広げていきます。	歩行が不安・不安定でる場合は看護師が介助します。		制限はありません。無理することなく少しずつ元の生活に近づけていきましょう。
活動 排泄		**15時頃**、**下剤**(マグコロール125ml)を飲みます。**19時頃**、**浣腸**を実施します。	**6時頃**、**浣腸**を実施します。入室前になったらトイレを済ませてください。	お小水の管が入っています。	お小水の管は、5日目まで留置します。		術後5日目にお小水の管を抜きます。看護師と一緒に自己導尿の練習を始めます。	
活動 清潔	マニキュア、ジェルネイルは全て外して爪は切ってきてください。	看護師がお腟の掃除と剃毛を行ないます。その後にシャワーを浴びてください。アートメイクや入れ墨がある方は看護師に伝えてください。			看護師が温かいタオルで身体を拭き、陰部を洗います。	温かいタオルで身体を拭き、歩行状態により陰部を洗います。自力で歩行可能な場合はトイレのウォシュレットで保清してください。状態により洗髪をしますのでご相談下さい	ドレーンが抜けるまでは温かいタオルで身体を拭きます。ドレーンが抜けたら医師の許可でシャワー浴ができます。	
教育説明その他	手術・麻酔等の説明用紙や同意書、お薬手帳、入院期間分の常用薬を持ってきてください。	手術に必要な物品を看護師が確認します。(腹帯、テープ式オムツ、尿取りパット)ローソンやファミリーマートで購入できます。		傷からの出血がないか等、適宜看護師が確認します。術後は管(ドレーン)がお腹から出ています。手術で切除した所に溜まる血液やリンパ液が管を通って出てきます。	お小水の管を抜く前に自己導尿の説明をします。ドレーンからの排液を看護師が観察します。ガーゼがしみてきた際は、看護師にお知らせ下さい。		ドレーンが全て抜去されたらリンパマッサージを開始するため、リンパ浮腫に関しての説明をします。	お傷は毎日泡で洗い清潔にしてください。お傷に
備考								

この説明用紙は、治療のおおよその経過をお知らせするものです。状態に応じて予定が変更になることがあります。
ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。

千葉大学医学部附属病院　婦人科　2023年11月作成